

YOKOHAMA GO GREEN 10Action

横浜の未来を守る環境にやさしい10の行動

「GO GREEN」は「環境にやさしい行動をとる」ということ!

「YOKOHAMA GO GREEN」は横浜の環境や生き物を守るための、横浜みんなの合言葉♪

かけがえのない横浜の環境を未来につなげるため、できることから始めましょう!

- 01 自宅の節電・省エネ
- 02 徒歩・自転車・公共交通機関でかける
- 03 横浜産を選んで、地産地消
- 04 長距離の移動・輸送を考える
- 05 食品ロスを減らす
- 06 リデュース・リユース・リサイクルの推進
- 07 自宅を省エネ・再エネハウスへ
- 08 次世代自動車を利用する
- 09 環境に優しい製品・サービスを選択する
- 10 地域の環境や生き物を守る活動に参加する

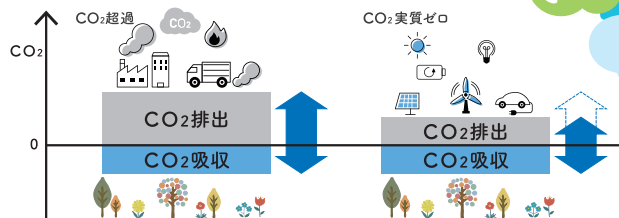


横浜市における、市民一人あたりのCO₂をはじめとする温室効果ガス排出量は、
年間約7,100kg-CO₂e、1日あたり約20kg-CO₂eになります。

● CO₂e:各温室効果ガスの排出量を二酸化炭素(CO₂)換算して算出した単位のこと。

脱炭素ってなに?

地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)等の温室効果ガスの排出をできる限り抑えけるとともに、森林などによる吸収分を差し引いて「実質ゼロ」になった状態を、脱炭素(カーボンニュートラル)といいます。



10Actionで少しずつ
排出量を減らすことが
大事なんだね

横浜市脱炭素
応援キャラクター

BAKUBAKU
YOKOHAMA GO GREEN

バクバク
紹介動画を見てね



横浜産を選んで、 地産地消



野菜・果物をはじめ、花、植木、畜産などバラエティ豊かな横浜の農業。横浜産を選択することで、地域を元気にするとともに、輸送にかかるCO₂の削減につながります。地域の直売所などを通じて、横浜の「農」に触れ、地産地消を暮らしの中に取り入れてみませんか。

Try Action!

- 身近な直売所等で旬の横浜野菜・果物を買う。
- 横浜産の食材を取り扱う飲食店を利用する。

横浜産は「横浜農場」が目印です!



食品ロスを 減らす



横浜市では、家庭から年間約85,000トン(市民一人あたり約23kg)の食品ロスが発生しています。食品ロスは、食べ物だけでなく、食品の生産、加工、輸送等に使用した資源やエネルギーを無駄にしています。一人ひとりが自分事として捉え、食品ロス削減に取り組みましょう。

Try Action!

- 日ごろから冷蔵庫を整理し、買い物は必要な分だけ買うようにする。
- 自分で消費しきれない食品はフードドライブに寄附する。

Ex

食べ残しをしない
約**0.01 kg** - CO₂e/日削減

長距離の 移動・輸送を考える



旅行などの長距離移動はもちろん、私たちの手元に届く多くの製品が、飛行機や船、自動車を使って運ばれています。移動・輸送にかかるエネルギーを考え、それを減らす工夫や、取組に参加することが大切です。

Try Action!

- 宅配便は1回目の配送で受け取る。
- 家庭の廃食油のSAF化の取組に参加する。

これだけでも、
約**0.18 kg** - CO₂e/回削減

「SAF(サフ)」ってなに?
家庭や事業所で使用された食用油(廃食用油)などから作られた航空燃料をSAF(Sustainable Aviation Fuel)といいます。



SAFについて

リデュース・リユース・ リサイクルの推進

ごみと資源を正しく分別することは、焼却するごみを減らし、CO₂の排出削減に繋がります。マイバッグ、マイボトルなど、ごみを発生させないリデュースやリユース・リサイクルにも取り組みましょう。



Try Action!

- プラスチックのみでできたものはプラスチック資源に分別! その他の資源も正しく分別する。
- 不要な時は、スプーンやストローなど一度しか使わないプラスチックを受け取らない。または繰り返し使えるものを選ぶ。

Ex

ペットボトル飲料からマイボトル利用で
約**0.1 kg** - CO₂e/回削減